

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成21年 4月16日(木) 午後7時～午後9時8分		
会場	日和田公民館	出席者数	19人 (男16・女3)
地域座談会の内容(市長講話・質疑応答の内容等)			
<p>3・市長講和</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箕輪の地滑りは、小康状態であるが、県、市、旧道路公団と協議している。被害の無いように万全を期していきたい。 ・配布資料に沿って説明。 <p>4・質疑応答</p> <p>旧醍醐小学校の跡地活用について</p> <p>男性A・旧醍醐小学校の跡地利用について、市としてどのように考えているか。</p> <p>市長・市として、具体的な構想はない。地域の方々の意見を十分聞きながら、皆さんのためになり、市全体としてもいい意味での施設なりを考えたい。</p> <p>男性B・同じ跡地利用の件で、アンケートを取って地区民の考え方を聞いていただきたい。市議会にも諮っていただきたい。早急に検討いただきたい。</p> <p>女性A・旧校舎を取り壊さず活用できなかったのか、残念である。 去年までは、跡地も荒れていた。</p> <p>男性C・跡地は、町会長連合会で草刈をしている。1回1万円で、2回実施し、2万円(の費用が)かかっている。前市長に相談したら、保険だけは入るとの助成はもらえるようになった。</p> <p>男性D・市で除草剤でもふってくれればいいのか。</p> <p>市長・それは(除草剤散布)それで反対の声もあるのではないかと。</p> <p>男性A・こうしたような土地はほかにもあるのではないかと。</p> <p>男性C・開発公社で持っているような土地は、どのように管理しているのか。</p> <p>女性A・高齢化社会なので、そうした施設があればいい。</p> <p>市長・市で直接運営はしない。民間の社会福祉事業者の需要があるかですが、福祉施設も選択種のひとつだとは思う。</p> <p>女性A・市全体として(高齢者福祉施設の)数が少ないのではないかと。待機している人が多いとの声がある。</p> <p>市長・介護保険(対象)の施設は、金がかかる。国も施設整備の枠があって、これ以上は難しいと言われている。待機している人は多数いるが、対応</p>			

は難しい。リハビリや介護予防を充実していくことも必要。福祉施設というのは一考に値する。

男性B・醍醐地区の文化遺産を残す資料館などはどうか。

市長・慈恩寺地区で、資料館の質問があった。構想はあるが進んでいないと答えた。文化遺産の資料館なども含めて、跡地利用をどうするか、具体的な要望として、積極的に受けとめて、皆さんの考えをお聞きしてから進めていきたい。

なお、跡地利用の課題については、市長は最後に、時間をかけて検討していくので、時間をいただきたいと発言した。

中学校給食の実施について

男性D・8年間教育長をしていた。中学校給食については、社共の市議と論戦してきた。寒河江市は親子3世代も多く安定しているのだから家庭の食育を大事にすべきだ。中学校給食は見合わせた方が良い。給食を実施すると、勉強時間が50分減る。ダイエットなどといって給食が余っている事例もある。(こうした実態を)大事に考えて、実施するなら実施していただきたい。

市長・親子の愛情表現の一貫として、弁当を通してというのは、思う所はある。弁当がなくなることその部分がなくなるとということにはしたくない。たとえば、ひと月に何回か弁当の日にするなどの意見もある。おっしゃる意見をお聞きしながらやっていく。お母さん方の手抜きのための学校給食にはなってはいけないとも言われているので、考え方を整理し、地産地消も含めて、いろんなご意見を聞きながらすすめていきたい。

民間委託について

男性E・柴橋小学校は今も民間委託ですか、状況はどうか。良ければ増やしてもよいのではないか。

総合政策課長・平成19年度から西根小学校も実施している。来年度から別の学校も予定している。何も問題はなかった。

男性E・保育所も指定管理者でしているのか。

総合政策課長・実施している。

市長・民間の方も一生懸命やっている。必ずしも民間がうまくなくて、行政がいいとはならない。熱心な方が努力しているなら、いい方法でやっていきたい。

環境美化について

男性F・寒河江川の伊藤建設のところから最上川まで(寒河江川橋から溝延橋までの日田側の堤)紙おむつが捨ててある。100メートルの区間に40くらいある。なんとかならないか。

男性G・町内会のごみ置き場に、鶴岡市のゴミ袋のゴミを置いて行った方がいる。

男性D・ビニールの焼却とか不法投棄については、常に広報(で注意喚起)してほしい。

市長・(寒河江川の堤の紙おむつ投棄について)現場をしてみる。

工業団地の拡張・企業誘致について

男性H・工業団地を拡張している。企業の立地状況はどうか。

市長・これまで、ある程度進出が約束されてから造成するとしてきた。今景気が悪いので、最後まで行ってはいない。ある程度目途が立ってきたので売買契約してきた。

男性H・市長のトップセールスで頑張ってもらいたい。

市長・東京の方にもセールスに行かなければならない。不況の時にも誠意をもって今まで以上に頑張っていきたい。

市立病院について

男性I・市立病院の移転の話はどうなっているのか。

市長・移転の話があったことについては、承知していないが今の段階では難しい。

現在病院の経営は厳しい。原因は医師の数の減少である。山大医学部に医師確保を依頼している。医師が専門家している。医療過誤などで訴訟ということもあり対象診療科目以外は見ない。こうしたことが苦情にもなっている。自治体病院の医師は救急対応などで大変だが、報酬は低いので個人開業してしまう。リニューアルは困難である。

少子化対策

男性I・少子化対策の子育て支援とあるが、具体的に子供を産んでいただく手だてをどう考えるのか。

市長・妊産婦検診事業で今まで5回だった支援回数を14回に増やした。国は補助事業を来年で止めるとしているが、継続要望していく。

おっしゃりたいのは、(男女の)出会いの場がないとのことだと思う。

行政(の仕事)として、いかがなものかとの声もあるが、最初の結びつける機会をつくることも改めて考えていかなければならない。

男性I・家と職場で精いっぱい出会いの場がない。仲人がいない。セッティングが必要だ。

市長・できるだけ、そういう機会をつくる。金もかからないソフトな事業だから考えていきたい。

女性A・昔は青年団活動や盆踊りの機会があった。

男性D・フランスでは、子供を3人以上生むと補助が多い。給食より子育て(支援)を充実してほしい。

男性E・学校の先生などは、子供も多い。育児休暇の充実も影響している。

市長・公務員は、育児休業などは配慮されているようだ。行政が企業を支援していくこともあるのかな。

花咲かフェアと観光振興について

男性J・クアパークのETCの管理棟が、本格的なものに改築されるときている。緑化フェアが7年目だが、今後とも継続してほしい。

市長・花咲かフェアは、7回目で30万人の入場者がある。無料ということも

あつて来る。今年は少し減額だったが、2500万円の予算で実施する。経済効果はあると思う。シンポルイベントにはなっている。今後どうするか、ずっと続けるか、別の形でやるか、そろそろ考えてもいい時期だ。寒河江を発展させるために、いろんな考えや意見を聞いて行きたい。

男性J・慈恩寺も含めて広域的な形で発展させていただきたい。

市長・寒河江市の観光振興計画がない。寒河江の中だけでの観光振興策でなく、西村山全体の広域的な計画を作らなければならないと考えている。単発でなく連携を模索したい。

男性J・(入場料)無料だけでみるともうからないが、誘客など(の視点を)含めた有機的な考えで見たい。

市長・県事業の緑化フェアは単発なので、その後も事業が継続されると考えていなかったことから無料にした。これだけ来ていただいたのだから結果オーライである。

女性A・慈恩寺の農免道路はどうなっているのか。観光にも有効な道路だが。市長・順調に進んでいる。

男性I・慈恩寺観光振興会について、5万円の補助をもらっていたが、平成20年度はもらっていない。平成21年度の予算には入っていた。工藤課長にもお願いした。

婦人会・交通安全母の会について

女性A・村の山(林)の管理に負担がでてきた。あと婦人会の解散がある。

男性H・昔は、村山の山林も学校改築のお金なども出てよかったが、今般一戸あたり500円を拠出して維持していくことになった。もめている町内会もある。

市長・戦後設立された組織が様変わりして存続できないことが出てきており、大きな課題になっている。もしかクラブもたいへんになっている。町会長あたりの意見も聞いてみたい。

男性H・交通安全協会の役をしているが、交通安全母の会が無くなったのは残念。その辺もうまくいくように考えてほしい。

市長・遺憾でもある。寒河江地区が解散したから連合も解散というのは困る。連合自体も復活できるよう、再構築を働きかけていきたい。活動が停滞しないようにしたい。

後日回答

旧醍醐小学校の跡地活用について 財務室

旧醍醐小学校跡地の草刈について、醍醐地区町会長連合会と年間2万円で業務委託契約を結ぶこととした。

環境美化について 市民生活課

環境美化について
寒河江川の紙おむつの件

回答；すぐに現場を確認した。寒河江川の管理を委託されている業者がすぐに回収してくれることとなった。

鶴岡市のごみ袋が放置された件

回答；すぐに現場確認し、回収した。

野焼きや不法投棄の広報の件

回答；これまでも市報や衛生組合連合会の広報紙等で年数回、広報している。今後とも引き続き広報します。

花咲かフェアと観光振興について

花・緑・せせらぎ推進課及び
商工観光課

1 慈恩寺農免道の件

道路の開通前に観光客の受入態勢の整備・強化を図り、アクセス改良の効果を十分に引き出していきたいと考えています。

2 慈恩寺観光振興会への補助金について

市は、慈恩寺観光振興のために地元を上げて誘客及び誘導、そして公園等の管理に尽力している慈恩寺観光振興会に対し、補助金 5 万円（額は最近定額）を交付している。

平成 20 年度は、4 月中に交付決定を行ったものの、補助金交付が平成 21 年 3 月中旬になってしまったために、すでに決算作業に入っていた振興会の事務に間に合わずに、平成 20 年度決算において未収処理が行われ、決算書に補助金収入 0 円と記載なってしまったものです。

平成 21 年度においては、団体への活動助成補助金という性格のものであることから、年度途中、遅くない時期での交付を行います。